様式12の３

有床診療所入院基本料１、２又は３及び介護障害連携加算の

施設基準に係る届出書添付書類

有床診療所入院基本料１，２又は３の施設基準に係る事項

　　次の該当する項目に○をつけること（（イ）に該当すること又は（ロ）から（ル）までのうち２つ以上に該当すること）。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | （イ） | 過去１年間に、介護保険によるリハビリテーション（介護保険法第８条第８項に規定する通所リハビリテーション又は同法第８条の２第８項に規定する介護予防通所リハビリテーション）、介護保険法第８条第６項に規定する居宅療養管理指導、同法第８条の２第６項に規定する介護予防居宅療養管理指導、同法第８条第10項に規定する短期入所療養介護、同法第８条の２第10項に規定する介護予防短期入所療養介護若しくは同法第８条第23項に規定する複合型サービスを提供した実績があること、介護保険法第８条第29項に規定する介護医療院を併設していること、又は介護保険法第46条第１項に規定する指定居宅介護支援事業者若しくは同法第53条第１項に規定する指定介護予防サービス事業者であること。 |
|  | （ロ） | 在宅療養支援診療所であって、過去１年間に訪問診療を実施した実績があること。 |
|  | （ハ） | 過去１年間の急変時の入院件数が６件以上であること。ここでいう、「急変時の入院」とは、患者の病状の急変等による入院を指し、予定された入院は除く。 |
|  | （ニ） | 有床診療所入院基本料「注６」に規定する夜間看護配置加算１又は２の届出を行っていること。 |
|  | （ホ） | 区分番号「Ａ００１」に掲げる再診料の注10に規定する時間外対応加算１の届出を行っていること。 |
|  | （ヘ） | 過去１年間の新規入院患者のうち、他の急性期医療を担う病院の一般病棟からの受入が１割以上であること。なお、急性期医療を担う病院の一般病棟とは、急性期一般入院基本料、７対１入院基本料（特定機能病院入院基本料（一般病棟に限る。）又は専門病院入院基本料に限る。）、10対１入院基本料（特定機能病院入院基本料（一般病棟に限る。）又は専門病院入院基本料に限る。）、地域一般入院基本料、13対１入院基本料（専門病院入院基本料に限る。）又は15対１入院基本料（専門病院入院基本料に限る。）を算定する病棟であること。ただし、地域一般入院基本料、13対１入院基本料及び15対１入院基本料を算定する保険医療機関にあっては区分番号「Ａ２０５」に掲げる救急医療管理加算の届出を行っている場合に限るものとする。 |
|  | （ト） | 過去１年間の当該保険医療機関内における看取りの実績が２件以上であること。 |
|  | （チ） | 過去１年間の全身麻酔、脊椎麻酔又は硬膜外麻酔（手術を実施した場合に限る。）の患者数（分娩を除く。）が30件以上であること。 |
|  | （リ） | 区分番号「Ａ３１７」に掲げる特定一般病棟入院料の注１に規定する厚生労働大臣が定める地域に属する有床診療所であること。 |
|  | （ヌ） | 過去１年間の分娩を行った総数（帝王切開を含む）が30件以上であること。 |
|  | （ル） | 過去１年間に、区分番号「Ａ２０８」に掲げる乳幼児加算・幼児加算、区分番号「Ａ２１２」に掲げる超重症児（者）入院診療加算・準超重症児（者）入院診療加算又は区分番号「Ａ２２１－２」に掲げる小児療養環境特別加算を算定した実績があること。 |

有床診療所入院基本料における介護障害連携加算に係る事項

|  |  |
| --- | --- |
| 介護障害連携加算届出の有無（該当するものに○） | 有　・　無 |

　「介護障害連携加算届出の有無」の有に○をつけた場合には、次の該当する項目に○をつけること。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 上記（イ）への該当 |
|  | 過去１年間に、介護保険法第８条第５項に規定する訪問リハビリテーション又は同法第８条の２第４項に規定する介護予防訪問リハビリテーションを提供した実績があること。 |
|  | 過去１年間に、区分番号「Ｃ009」に掲げる在宅患者訪問栄養食事指導料又は介護保険法第８条第６項に規定する居宅療養管理指導（管理栄養士により行われるものに限る。）若しくは同法第８条の２第５項に規定する介護予防居宅療養管理指導（管理栄養士により行われるものに限る。）を提供した実績があること。 |
|  | 過去１年間に、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第５条第８項に規定する指定短期入所を提供した実績があること。 |

 [記載上の注意]

　○を付した事項に係る実績を示す書類を添付すること。